

## 令和7年度 学校評価のまとめ【保護者】

### 1. 回答数（回答率）

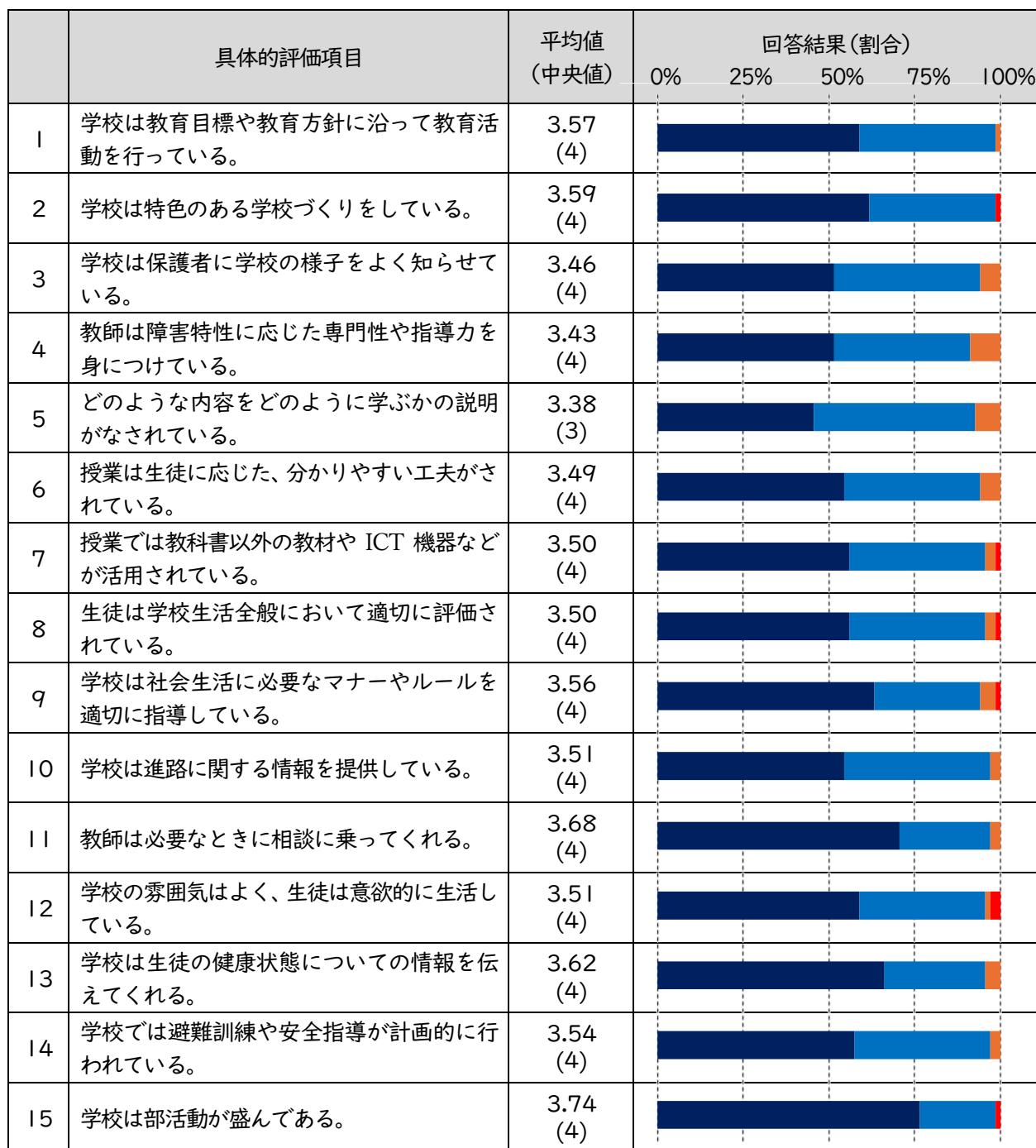
1年	2年	3年	全体
24/33 (72.7%)	25/28 (89.3%)	19/28 (67.9%)	68/89 (76.4%)

### 2. 評価（4件法：表上部の数字は評価点数）

4	3	2	1
■ よく当てはまる	■ やや当てはまる	■ あまり当てはまらない	■ 全く当てはまらない

### 3. 各評価項目の回答結果

#### (1) 教育活動



## (2) 教育環境

	具体的評価項目	平均値 (中央値)	回答結果(割合)				
			0%	25%	50%	75%	100%
16	学校はよく清掃されている。	3.75 (4)					
17	教育に必要な施設・設備が整っている。	3.57 (4)					
18	学校は生徒の安全に十分配慮している。	3.63 (4)					

## (3) 開かれた学校

	具体的評価項目	平均値 (中央値)	回答結果(割合)				
			0%	25%	50%	75%	100%
19	学校参観や行事など保護者が参加しやすい機会がある。	3.63 (4)					
20	生徒は地域や地域の方との学習の機会がある。	3.68 (4)					
21	学校は外部講師等による教育活動を行っている（専門コースの指導、情報モラル教育や消費者教育など）。	3.65 (4)					
22	学校は地域の方と協力して教育活動を行っている。	3.59 (4)					

## 4. 評価結果の分析

### (1) 高評価の項目

	具体的評価項目	平均値	中央値	「よく当てはまる」の割合	標準偏差
16	学校はよく清掃されている。	3.75	4	75.0%	0.43
15	学校は部活動が盛んである。	3.74	4	76.5%	0.53
20	生徒は地域や地域の方との学習の機会がある。	3.68	4	69.1%	0.50
11	教師は必要なときに相談に乗ってくれる。	3.68	4	70.6%	0.53

#### ○ 学校はよく清掃されている。【項目 16】

生徒による校内清掃（専門教科や清掃の時間）やワークサポートグループによる美化・衛生の取組が継続的・全校的に機能していることがうかがえる。

#### ○ 学校は部活動が盛んである。【項目 15】

各種大会への参加など、活動機会の確保や成果の発信が高評価につながっていると考える。

#### ○ 生徒は地域や地域の方との学習の機会がある。【項目 20】

現場実習や校外実習、外部専門家による講話や専門コースでの指導、地域イベント等への参加など、地域や地域の方との学習の機会が多様であることが高評価につながっていると考える。

## ○ 教師は必要なときに相談に乗ってくれる。【項目 11】

教師の相談対応が信頼され、相談しやすい体制になっていることがうかがえる。生徒日々のコミュニケーションの積み重ねやスクールカウンセラーとの連携が高評価につながっていると考える。

### (2) 低評価の項目

	具体的評価項目	平均値	中央値	「よく当てはまる」の割合	標準偏差
5	どのような内容をどのように学ぶかの説明がなされている。	3.38	3	45.6%	0.62
4	教師は障害特性に応じた専門性や指導力を身につけている。	3.43	4	51.5%	0.65
3	学校は保護者に学校の様子をよく知らせている。	3.46	4	51.5%	0.60

## ○ どのような内容をどのように学ぶかの説明がなされている。【項目 5】

肯定率（「よく当てはまる」+「やや当てはまる」）は 92.6% であるが、高評価（「よく当てはまる」）が、45.6% と全項目の中で唯一 50% を下回り、中央値が唯一 3 である。学習内容や学びの過程の伝え方に工夫が必要である。

## ○ 教師は障害特性に応じた専門性や指導力を身につけている。【項目 4】

評価のばらつきが相対的に大きいことから、障害特性に応じた指導について、指導の根拠を丁寧に説明することが課題である。

## ○ 学校は保護者に学校の様子をよく知らせている。【項目 3】

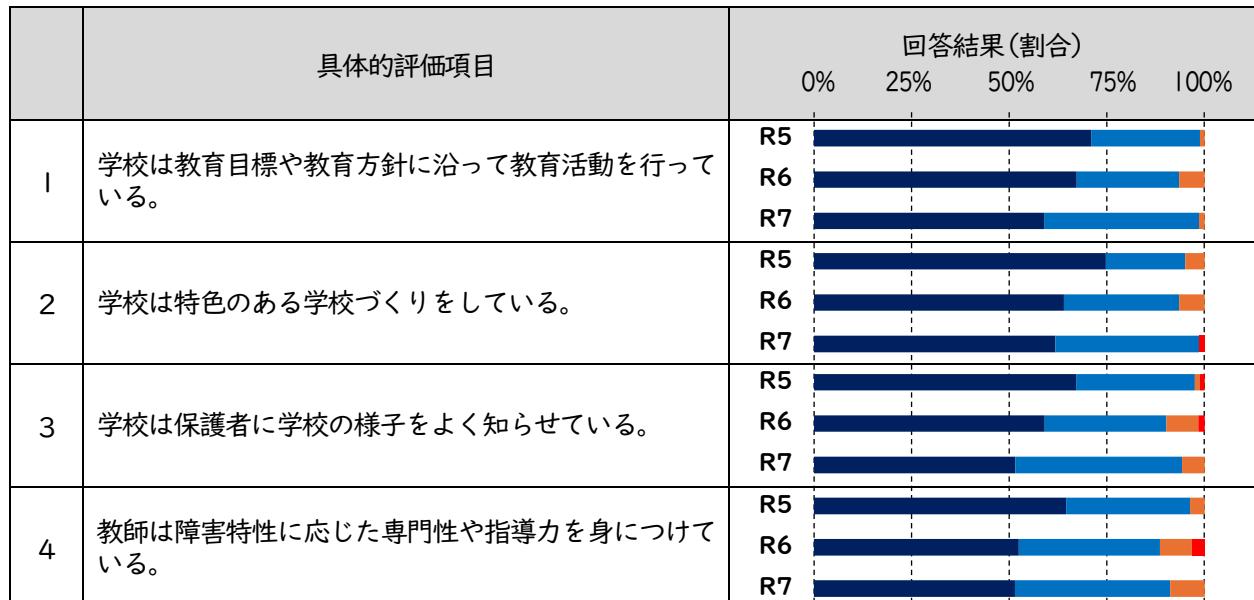
連絡帳や電話、媒体（紙・メールメイト・ホームページ・SNS 等）の伝達方法に改善の余地がある。媒体については、発信内容を定型化することで発信しやすくするとともに、紙媒体の内容をデータ（PDF）でも併せて発信したり、発信済みのホームページや SNS へのリンクをメールメイトで通知したりするなど、保護者が必要な情報に確実にアクセスできるための工夫が求められる。

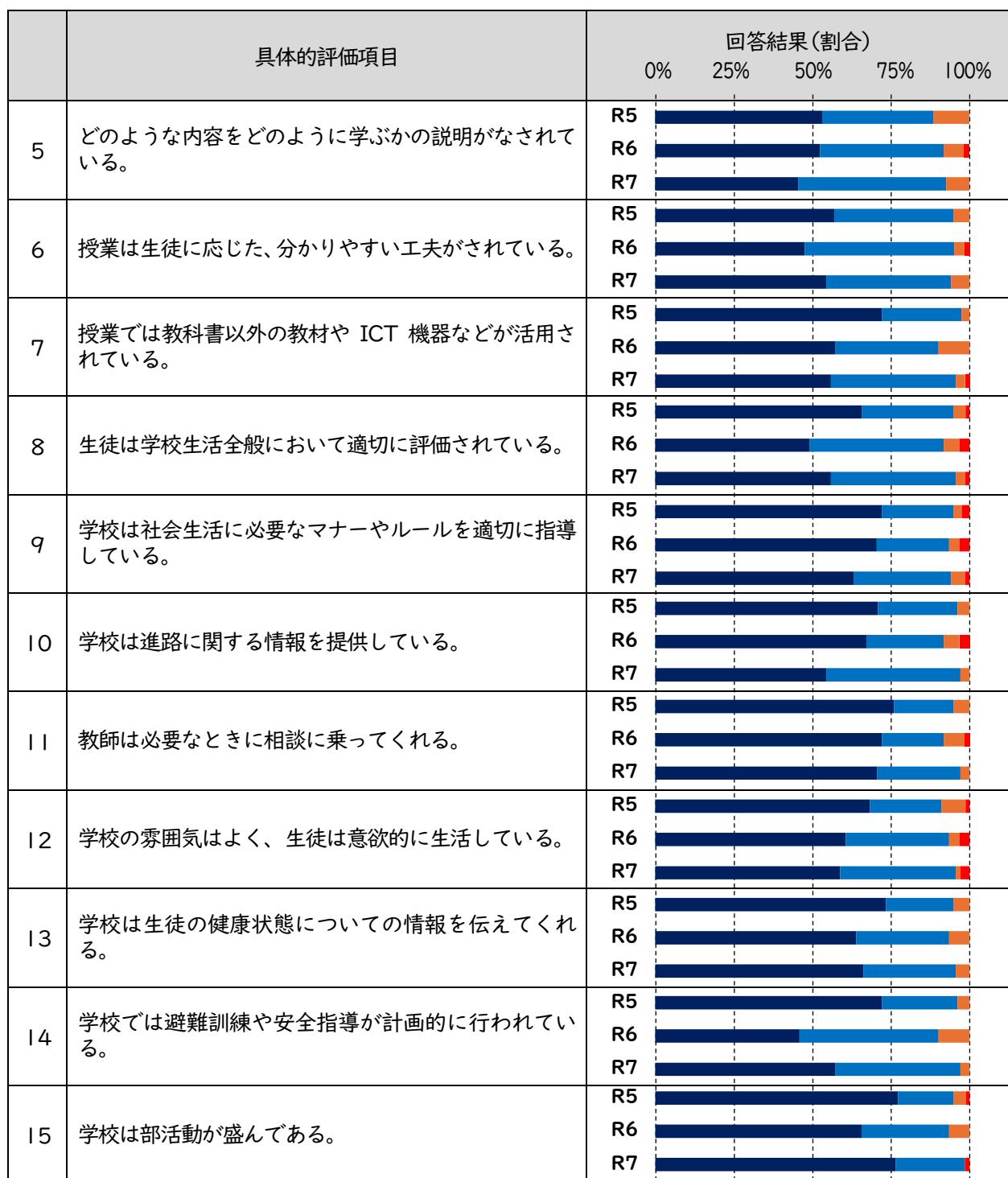
### (3) 総合的な考察

標準偏差の平均値は 0.68 であり、全体的に評価のばらつきは中程度である。高評価の項目は標準偏差が全体平均より小さく、評価の一一致度が高いことを示している。一方、低評価の項目の標準偏差は全体平均に近く、極端な分散は見られないものの、評価の差が一定程度存在する低評価の項目の改善の方向性としては、保護者のニーズを把握し、各保護者のニーズに応じた情報提供や説明の在り方を工夫することが求められる。

## 5. 過年度との比較【参考】

### (1) 教育活動





## (2) 教育環境



	具体的評価項目	回答結果(割合)					
		0%	25%	50%	75%	100%	
18	学校は生徒の安全に十分配慮している。	R5					100%
		R6					100%
		R7					100%

(3) 開かれた学校

	具体的評価項目	回答結果(割合)					
		0%	25%	50%	75%	100%	
19	学校参観や行事など保護者が参加しやすい機会がある。	R5					100%
		R6					100%
		R7					100%
20	生徒は地域や地域の方との学習の機会がある。	R5					100%
		R6					100%
		R7					100%
21	学校は外部講師等による教育活動を行っている（専門コースの指導、情報モラル教育や消費者教育など）。	R5					100%
		R6					100%
		R7					100%
22	学校は地域の方と協力して教育活動を行っている。	R5					100%
		R6					100%
		R7					100%

(4) 回答率推移

